



発行日/令和元年12月25日 発行者/網代和夫 編集/あきる野市町内会・自治会連合会 広報部会

避難所開設・運営訓練



実行委員長

あきる野市 町内会連合会

会長 吉澤 辰夫

連合会と安全安心地域委員会は去る12月8日(日)、増戸地区にある五日市ファイブラザ及び防災多目的広場である森の下公園において、災害時に設置する避難所の開設・運営訓練を実施した。

参加した町内会・自治会は82団体、参加人数は約300名。訓練内容は避難者受け入れ訓練、避難所レイアウト設営訓練、衛生・救護訓練、炊き出し訓練、無線交信訓練等の六項目を五つの班で分担し、それぞれの班が必要と思われる機材や資材を想定し、調達し配置した。

本訓練の目的は避難所を開設し運営するに当たり必要な知識の習得、体験を通じて得る経験の蓄積と課題の抽出であり、多くの参加団体を通じてノウハウを普及していくことも本訓練の目的でもある。



昨年は夜間に発生した災害に対する誘導訓練を実施したが、今回はその続編ともいえる。あらかじめ想定された範囲内での活動ではあるが、それでも各班員は何度も会議を重ね準備に時間を割き、これが突然の災害発生により開設されるとなると、避難者の要望や不満にこたえられなくなることが想定されます。こうした訓練を通じて、避難所内での必要な常識やルール等が確立していくことが大事、前回及び今回実施した防災訓練が防災リーダーの知識と経験に寄与していただければ幸いです。

余瀝

最近、ダイバーシティ(多様性)という言葉が人口に膾炙しています。この言葉は様々な分野で使われていますが、どの社会にも、どの組織にも多様な考えをしっかりと確立することは今を生きる人間として極めて大切なことです。他に流されず主体性をもって生きることの重要性は価値観の多様な現在にはことさら求められることです。最近はやりの同調圧力に屈せず、筋を通して活動している方は、傍らから見ても頼もしく信頼がおけます。一方、自己の主張に固執し、相手にも押し付ける方の態度は見苦しく人として狭量の感を否めません。▼伝統や国家の価値観、時代の価値観とは異質の個人の価値観が今大きく社会の中で大切なものとして脚光を浴びています。選良と言われる人たちの目を覆いたくなるような無能ぶりや道徳的な退廃を日々見聞していると、国や社会、メディアの既成の価値観から解放された、今の世を自由に生きる、今の世にふさわしい、誰をも傷つけず励ます、自由な精神の飛翔を可能にする価値観が求められます。▼町内会・自治会の議論でも大切なことは個々人にはそれぞれ多様な価値観があることを認め合うことでしょうか。他の人の意見を言うか否かの際、己の主張のみをするのではなく、相手の意見に謙虚に耳を傾けることが肝要ではないでしょうか。他の意見を受け入れることによって己の考えも止揚されます。そうすることによりその場に和が生まれるとともに町内会・自治会の組織的、理論的な発展に寄与することになるのではないのでしょうか。



# わたくしたちの活動 絆・ご近助力

富士見台自治会 会長

石原 繪哩子

私たち富士見台自治会は、「日本一仲の良い自治会」を目指して、日々活動しています。この地域は、古くから住んでいる人が比較的少ない、新興住宅街とも言える地域で、近所どうしのお付き合いがやや希薄な感じがしています。一方、近年、大きな自然災害が相次ぎ、他人事ではなく、近所どうしで行っている現在、まずは顔見知りになることが必要と感じています。

幸い、当自治会には、会員の皆さんが参加できる行事が多くあります。毎月の資源回収を始めとして、4月の春祭り、8月の盆踊り大会、秋のハイキング。あきる野市主催の花いっぱい運動には毎年、積極的に参加するようにし、花壇コンクールにも上位入賞ができるようになってきました。夏休みには、子供たちを中心にラジ操体操を行い、未来を担う子供たちとの交流も欠かさないようにしています。そして、昨年からは始まった12月のふれあい祭りがあります。3年前までは、秋祭りを行っていましたが、

一昨年は雨で中止となっていました。私は雨でも決行するつもりでしたが、理事の皆さんでアイディアを出し合い、安全面を考慮して秋祭りは雨天中止とし、その代わりに、それまで12月に小規模で行っていた餅つき大会の内容を大幅に変更して、「ふれあい祭り」と銘打って、盛大に開催することに決まりました。私としては苦渋の決断でしたが、実際ふたを開けてみたら、秋祭りの祭典長さんを始め、祭典の理事さんの奮闘もあり、ふれあい祭りは、大成功。文字通り「雨降って地固まる」を実感しました。昨年からは、自治会の正式年間行事として「ふれあい祭り」を開催するようになり、高齢者のグループの清和会、PTA、子供たち、自治会の理事さん、組長さん、そして会員の皆さんが一体となって行う、「ワクワク行事」として開催しております。

一昨年、それまで借地だった自治会館の土地を、自治会として買い取ることにしました。寄付は募らず、毎月の資源回収と、ボランティアで運営している農園の野菜の売上から、わずか3年で返済を完了することができました。次は、老朽化した会館を建て直し、新会館を建設することを目標に掲げて、「ご近所力」ならぬ「ご近助力」が発揮できるような自治会を目指して、会員の皆さんとともに、頑張っていきたいと思っています。

## 視察研修報告

### 「町内会・自治会つてなあに」

11月22日、山梨県にある山梨学院大学に赴き、同大教授日高昭夫先生による講演「町内会自治会の今とこれから」を拝聴した。

先生は次のように述べられた。町内会・自治会の特徴は、世帯単位の会員組織である。全世帯加入が暗黙の目標になっている。自治組織と言いつつも、地方自治体の補完組織となっている。その強みとしては、隣近所との地縁関係を基礎に、地域内で独自のルールを構築し維持できることである。このような組織は、日本以外に見当たらない組織形態であり、由来は江戸時代の町村に遡る。また、現在一番の問題となっている加入率の減少については、全国で起きている現象で、原因は世帯構造の変化が大きな要因となっている。高齢化や一人暮らしの世帯が増加し、加入率を押し下げている。

今後の方向としては「災害時などいざという時の社会保険としての親睦組織」を目指し、垣根のハードルを低くして加入者を増やすことが良いのではないか。



## 産業祭に参加

11月9・10日に都立秋留台公園で開催された第25回あきる野市産業祭に本年度も連合会役員が参加し、町内会・自治会の宣伝と加入促進に取り組みました。



## 編集後記

会報編集も早2年、メンバーの特性と紙面の構成が非常にマッチした会報作りが出来たとメンバー全員が自負している感がある。

今回の一面は、防災訓練（避難所開設、運営訓練）が紙面を飾っているが、自然災害はいつ起こるか分からない、また、人間の法則である「忘れっぽさ」への警告、常に「そなえを怠らない」ための意識付けと捉えての構成となった。令和2年度は、明るい話題の寄稿を期待しています。

会報部会 松下 昌則

～春～ 春祭り  
～夏～ 盆踊り  
～秋～ ハイキング  
～冬～  
資源集回収ご協力をお願い  
富士見台にお住まいの皆様へ  
いつも自治会活動に対し、深いご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。当用紙取得のため積極的にふれあいの方にも声掛けたく、本会館を配布させていただきます。下記は、下記の協力を是非ともお願いします。

令和元年12月8日  
北公園・花壇

## 親子けん玉交流会

連合会では地域の小学生と保護者を対象に、けん玉プロコーチを招いて、「親子けん玉交流会」の事業を実施します。

実施日は、令和2年2月9日（日）、10時から12時まで、場所は秋川体育館、参加費は無料、先着100組（200名）。詳しくは左記地域防災課地域振興係まで  
☎042155811394